

平成 27 年度 造血細胞移植委員会活動報告

1. 第 1 回日本小児血液・がん学会 造血細胞移植委員会を開催した。
2015 年 11 月 29 日 甲府富士屋ホテルにて開催した。議事録添付。
2. 小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究について
サーベイモンキーによる調査へ変更することとなり現在作成中。
3. TRUMP の改訂
現行の TRUMP 調査項目では小児の移植に対して十分ではない。このため当委員会として造血細胞移植学会 一元化委員会内の WG に TRUMP 調査項目の改訂を進めるべく提案する。担当は以下のとおり。H27 年末の委員担当分については委員長が引き継いでおこなう。
ALL・AML (佐藤委員) 先天性免疫不全 (長澤委員) 再生不良性貧血 (田内委員) HLH、LCH (森本委員) 晩期障害 (塩原委員)。
4. 移植患者健康手帳について小児に関しては橋井より小児家族会から意見を聴取することが報告された。移植合同班会議において検討会議も組織されており、意見交換を進めている。
5. 小児における移植に関し、家族や社会にむけて小児血液・がん学会 HP 上で情報を発信してはどうか、との意見が出された。造血細胞移植学会には小児に特化した記載がない。ただ患者や家族に対する情報の発信は小児血液・がん学会として行うべきであり、その一環として行うよう担当理事を通じて広報委員会へ提案する。
6. 小児血液がん学会メルマガに小児ドナーの有害事象報告掲載について小児血液がん学会広報委員会大賀委員長から許可をいただいた。
7. 日本造血細胞移植学会による非血縁者間造血幹細胞移植認定施設および日本造血細胞移植学会への参加に関して
非血縁造血細胞移植を行うためには認定施設となる必要があり、認定施設となるには日本造血細胞移植学会認定医が必要である。小児血液がん学会所属施設においても移植をおこなう施設では日本造血細胞移植学会認定医取得をしてもらうよう促していく。